

守山まるごと活性化プラン検討委員会  
第2回 学区別会議（河西学区）

日時：平成25年7月25日（木）

19：00～20：30

場所：河西会館

次 第

1. あいさつ
2. 説明
  - 本日の進め方
  - 守山まるごと活性化プランの内容と検討方法
3. 意見交換（テーブル毎に）
  - 地域の特徴、良いところ
  - 地域の宝ものさがし
4. 結果の発表・共有
5. 次回の予定など



守山まるごと活性化プラン検討委員会（学区別会議）委員名簿

【 河西学区 】

H250725 現在

敬称略

No.	自治会	名前		班
1	小島	島田 恭司	しまだ きょうじ	1
2	小島	北川 作治	きたがわ さくじ	
3	播磨田	北村 光明	きたむら みつあき	
4	播磨田	北村 実	きたむらみのる	
5	播磨田	望月 香奈恵	もちづき かなえ	
6	今市	大内 順一	おおうち じゅんいち	
7	今市	河村 眞一	かわむら しんいち	
8	布施野	小林 茂	こばやし しげる	2
9	布施野	竹林 義彦	たけばやし よしひこ	
10	荒見	里内 勝	さとうち まさる	
11	荒見	石原 和成	いしはら かずなり	
12	川中	高野 隆男	たかの たかお	
13	川中	岡田 頼光	おかだ よりみつ	
14	川中	岡田 美代子	おかだ みよこ	3
15	笠原	若井 博之	わかい ひろゆき	
16	笠原	津田 徹	つだ とおる	
17	中	内田 俊治	うちだ しゅんじ	
18	中	内田 豊	うちだ ゆたか	
19	田中	小原 敬治	こはら けいじ	
20	田中	平尾 茂一	ひらお しげかず	
21	川辺	茶谷 富雄	ちやや とみお	
22	川辺	茶谷 勉	ちやや つとむ	4
23	阿比留	梅森 嘉高	とがもり よしたか	
24	阿比留	倉田 一祐	くらた かずたか	
25	阿比留	神谷 昭夫	—	
26	川田	中北 平夫	なかきた たかお	
27	川田	中田 康男	なかた やすお	
28	喜多	片山 武	かたやま たけし	
29	喜多	北村 優	きたむら まさる	5
30	河西ニュータウン	近土 邦雄	こんど くにお	
31	河西ニュータウン	沖田 修作	おきた しゅうさく	
32	河西ニュータウン	浅田 紀代子	あさだ きよこ	
33	河西ハイム	山川 喜一郎	やまかわ きいちろう	
34	河西ハイム	西尾 由利子	にしお ゆりこ	
35	ラーナー守山	岸本 貢	きしもと みつぐ	
36	ラーナー守山	塚田 一彦	つかだ かずひこ	

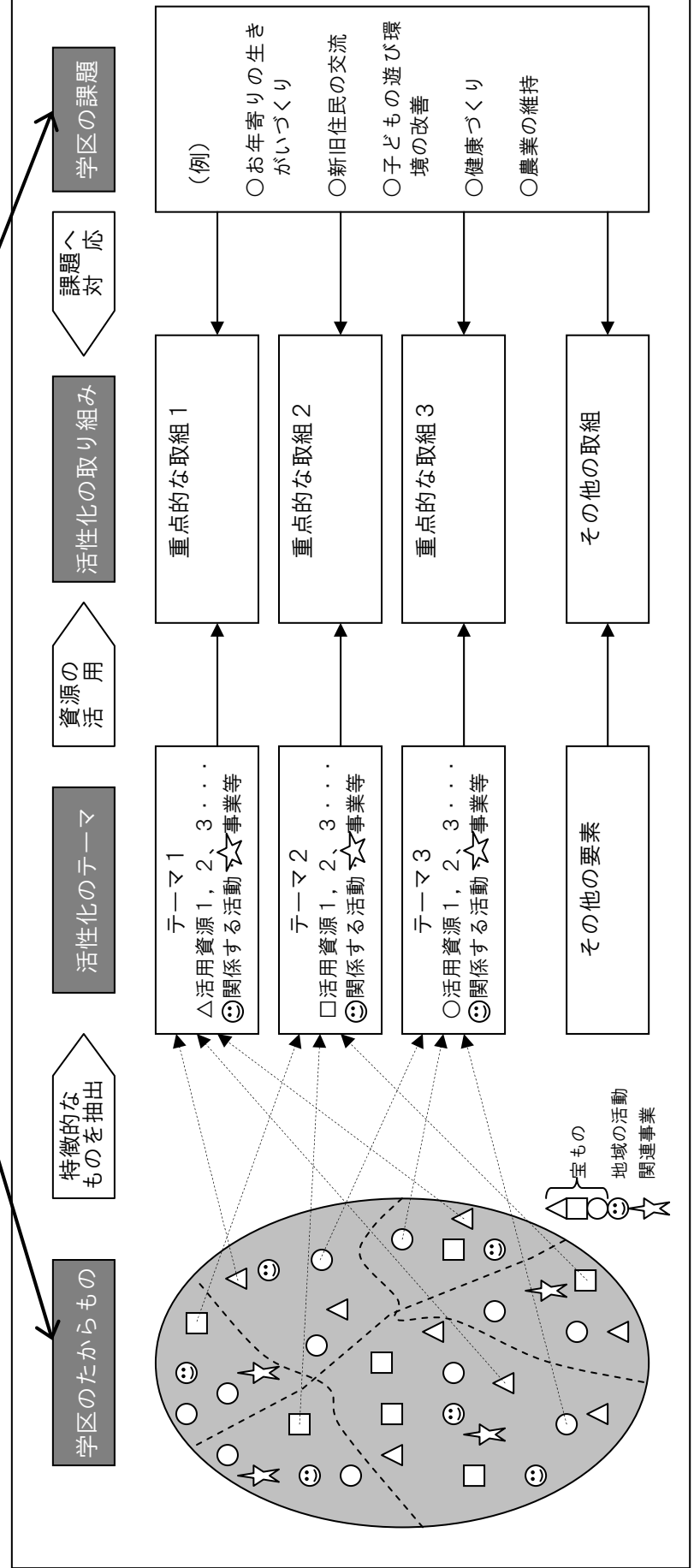
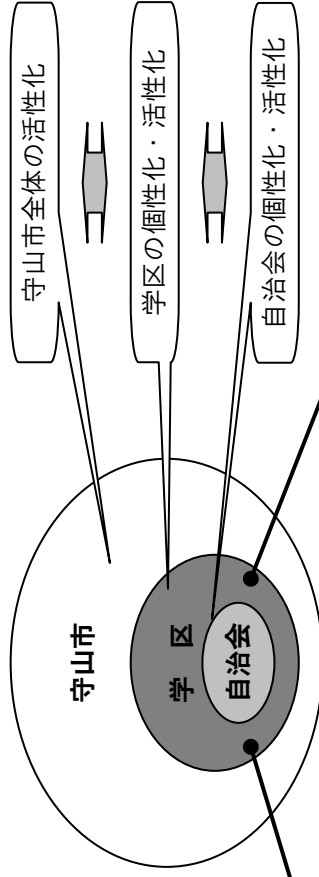
事務局

- ・濱崎一志（アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授）
- ・北野正広
- ・坪内稔夫
- ・田渕誠一
- ・倉嶋祐介
- ・川嶋利明
- ・吉原史雄
- ・山田 憲
- ・中野俊彦
- ・足立慎也
- ・義浦慶子

# 「守山まるごと活性化プラン」 検討の考え方

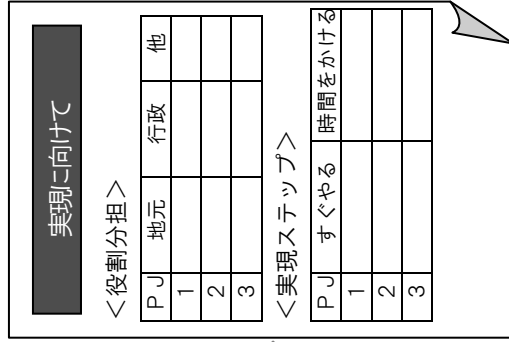
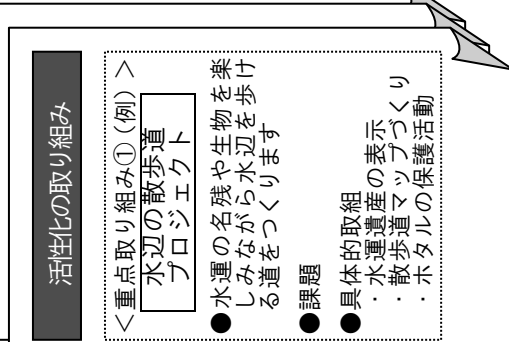
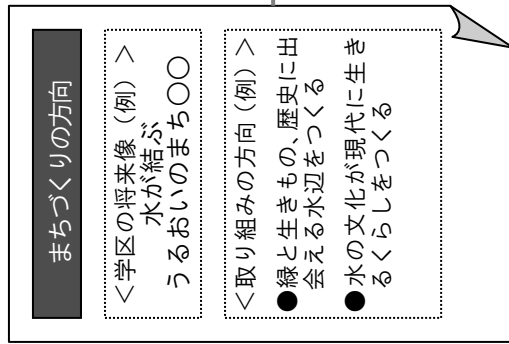
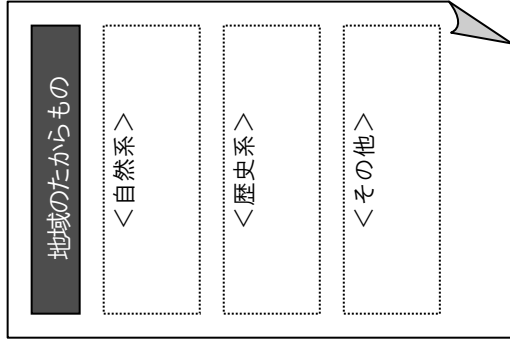
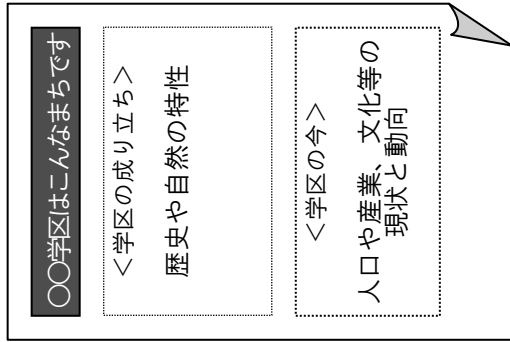
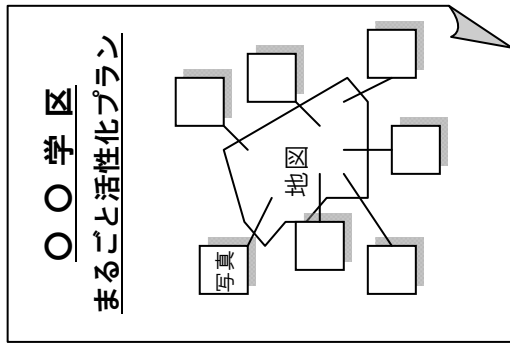
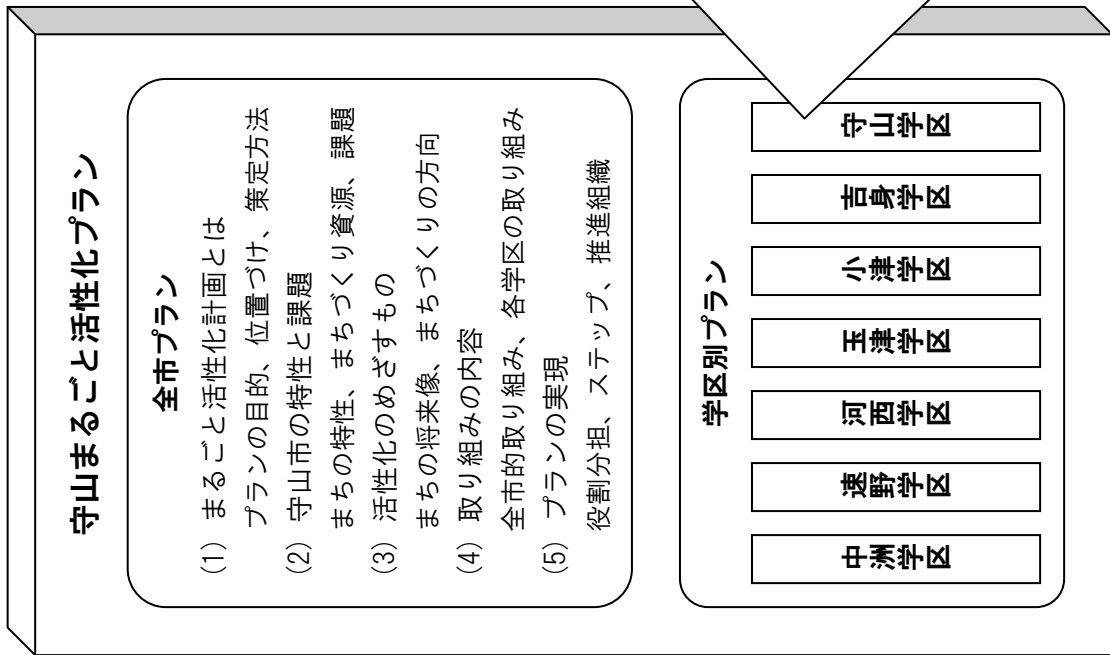
## 守山市まるごと活性化計画

- 目的  
地域資源を活用した地域全体の活性化に取り組み、地域や守山市への『愛着と誇り』の醸成をめざす。
- 位置づけ  
○ 活性化に向けた具体的な取り組みのとりまとめ  
○ 地域と行政が連携し、プラン策定、プラン実行を行う  
○ プランの事業は5~10年間で順次事業化
- 検討の視点  
○ 歴史資源や自然資源等を活用した活性化  
○ 魅力的な地域創造による愛着と誇りの持てるまちづくり  
○ 人とひとの絆の強化、地域コミュニティの活性化

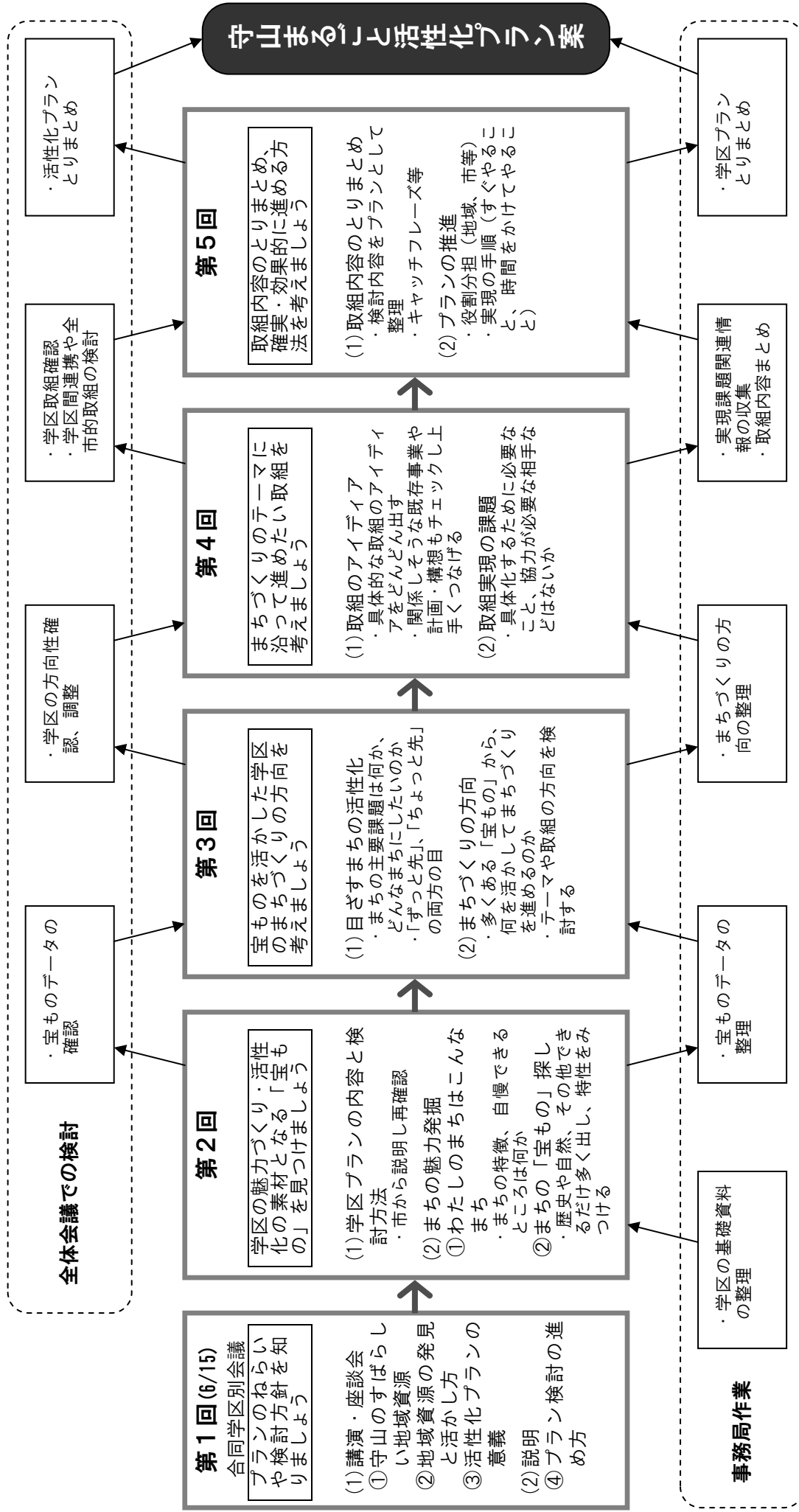


# 「守山まるごと活性化プラン」完成イメージ

学区別プラン内容イメージ (ボリュームは各学区8頁程度を想定)



# 学区別会議の進め方



※これは基本的な流れを示したものであり、学区の状況に応じて各回の検討内容が変わる可能性があります

# 河西学区の 地域資源一覧

# 河西学区のたからもの

## ●祭り・風習

- 餅つき神事<中町若宮神社>
- お粥神事（中町）



## ●社寺

- 西蓮寺【板碑、高田信岳顕彰碑】
- 刺江神社【鰐口、大般若経理趣分】
- 十王堂
- 天神社



## ●史跡・城址・古墳

- 阿比留遺跡
- 播磨田東遺跡
- 八ノ坪遺跡
- 酒寺遺跡
- 播磨田城遺跡
- 狐山古墳
- 川田合村跡
- 川中遺跡



## ●石仏・記念碑・建造物等

- 川田の一本松祈念碑（天神社）
- 道標
- 杉本家屋敷



## ▲水関連

- 野洲川高水敷※
- 法竜川（ハイパス整備）
- 水災記念碑
- 城野曹長の碑
- 丸坪の湧
- 川戸
- 田中幸右衛門記念碑
- 水止め石（荒見町）
- 水止め石（播磨田町東端）
- 出湯の樋



## ▲自然

- 川田河川公園
- 北川原公園※
- 近江妙連公園
- 笠原サクラ公園
- 鳩の森公園
- 喜多の薄墨桜
- 天満宮のツガ
- 八田神社のコウヨウザンとナナメノキ
- 皇小津神社のカクレミノ
- 川辺のミクリ
- 若宮神社の二度咲き桜
- 天神社のヒイラギ
- 川田町のニワウルシ



## ●道路

- 野洲川高水敷自転車道※
- 錦織寺道
- 佐々木街道



## ■公共施設・産業等

- 市民農園（荒見ファーム）
- 旭化成
- JNC
- 比叡ゆば※
- 川田グラウンドゴルフ場
- 大型商業施設（ららぽーと守山）
- 河西民族資料室
- 奥野西溪※
- 笠原しようが※
- ホタル



## ■その他

- 奥野西溪※

※地図表示なし



# 河西学区

歴史街道マップより

## 河西学区の見どころ

旧河西村（大字播磨田、小島、川田、中、笠原、今市、荒見）に属するこの地域は、野洲川が伏流する湧水地帯であり、水利の豊かなところです。村々を結ぶ道は古くから存在したと考えられ、佐々木街道、錦織寺道などの古い幹線道路を通じてたくさんの人や物が往来したでしょう。

この地域は旧村名にもなった野洲川（野洲川の西岸にあるため、明治22年に河西村と定められた）の恵みとその脅威に接してきたため、野洲川に関する遺構や伝承が多く残っています。御神体の流出を田螺（お蛸さん）が守ったという蛸江神社に関わる話や一村流出という合村の悲劇の話など、野洲川にまつわる伝承が今に伝えられています。また、荒見町や播磨田町に残る水止め石は、人々と水との闘いの記録です。

河西学区には、花の見どころも多くあります。春には野洲川堤防の桜や喜多の淡墨桜、夏には蛸江神社の菖蒲や大日堂の妙蓮が花をつけ、多くの人が訪れます。また、市民の憩いの場となっている鳩の森公園では、6月上旬頃に人工飼育された源氏螢が飛び交い、訪れる人の目を楽しませてくれます。

### 1. ツガ(天満宮)

拝殿横に高さ9m、幹回り92cmのツガの木がある。ツガは天然林が伐採されて人の手が入ると急激に減少する木で、今では、この境内にあるツガがたいへん貴重な木となっている。材にはいろいろな



用途があり、その樹皮からとったタンニンで漁網をそめたようである。

### 2. コウヨウザンとナナメノキ(八田神社)

本殿に向かって左前に高さ18m、幹回り1.8mもあるコウヨウザンの大木がある。中国南部が原産地で、日本には江戸時代に伝えられた。また、本殿裏の森の中には高さ



16m、太さ1.25mもある大きなナナメノキが生えている。

### 3. 河西民俗資料室



河西小学校の余裕教室を利用した展示施設。守山市内から集められた、農具や生活品などの民俗資料が展示されている。

見学は事前に市教育委員会生涯学習課まで申込みが必要。

### 4. 錦織寺道



守山裏町を進み、八代、阿比留を経て、中主町木辺まで通じている。中山道から真宗木辺派本山錦織寺への参詣道として、彼岸、御正忌には賑わった。

また、阿比留から木浜にもでることができた。

### 5. 川戸

屋敷内や家屋内に川の水を引き込むようになっている水洗い場のことを、昔から「かわと」と呼んでいる。小島町阿比留の民家には、現在も川戸が残っている。以前は、



美しい川の水を炊事や洗濯など、生活全般に利用していた。

### 6. 阿比留遺跡



小島町阿比留の西側に広がる古墳時代の集落跡である。これまでに、道路工事などに伴う発掘調査で、竪穴住居跡や河跡が見つまっている。出土品には、渡来人の活動を示す韓式系土器や刀形などの木製祭祀具をはじめ、大量の土器や木製品がある。

### 7. 丸坪の湧



六兵衛山（現旭化成守山支社）は木々が鬱蒼と繁り、狐や狸が多く住み着いていたという。ここに、小島・阿比留の湯元であった丸坪の湧があった。深く、美しい水をいつもたたえていたといわれる。現在は湧跡に記念碑が建っている。

### 8. 播磨田湯の樋



田中幸右衛門が野洲川に設置した樋である。川中に籠樋百三十間を通し、前堤防と本堤防にそれぞれ二十間と二十五間の石樋でトンネルを作り、三十七間の内堀に水を導き、水源地（播磨田の湯）とした。現在は内堀付近の地下水をポンプでくみ上げ、水路に流している。

### 9. 田中幸右衛門記念碑

播磨田は農業用水の確保には大変苦勞の多い地域であった。播磨田村の庄屋田中幸右衛門は野洲川から水を引くことを考え、太工事の末、享保4年(1719)に播磨田の樋を完成させた。



明治34年(1901)にこの功績をたたえ、有志により顕彰碑が建てられた。

### 10. 水止め石



野洲川の洪水から村を守るために、村の入口に「水止め」を設けた。播磨田町の東端にはこの水止め石が残されている。水止め石は、中央に溝を彫った石柱を道の両端に打ち込み、そこに六尺五寸の民家の戸板をはめ込み、水を防ぐようになっていた。

### 11. 高田信岳顕彰碑

明治の廃仏毀釈の風潮の中、西蓮寺住職高田信岳は、真宗木辺派本山門主について東京に上り、明治政府に対して信教の自由を強く要求した。信教の自由を守るとい



う地域の人々によって、西蓮寺境内に顕彰碑が建てられた。

### 12. 西蓮寺板碑



境内から出土した板碑で、現在は高田信岳顕彰碑の横に移設されている。頂部を三角の山形とし、方形の身には山の下に段を設け、さらに下に梵字の種子を刻む。銘はないが、形状と種子の表現から鎌倉時代後期のものと考えられている。

### 13. 鳩の森公園



アスレチックやグラウンド、池、人工河川があり、市民の憩いの場となっている。かつての農業用水であった矢島の湯跡からポンプアップした水を利用して、公園内に市立の蜚小屋が設置され、源氏蜚の人工増殖の研究が進められている。

### 14. 播磨田東遺跡



播磨田町から小島町にかけて広がる集落跡である。これまでに、弥生時代から古墳時代にかけての竪穴住居跡や墓跡が発見されている。中でも、ハイムタウン下の古墳時代の集落跡では、滑石(緑色の軟質の石)を使った玉づくりが行われていた。

### 15. 八ノ坪遺跡

播磨田町周辺に広がる縄文時代から古墳時代にかけての集落跡である。「衣笠の里」造成工事に伴う発掘調査では、4世紀と考えられる衣笠(貴人にさしかける日傘)



の立飾りが全国で初めて出土して、話題になった。

### 16. 酒寺遺跡

播磨田町の東側に広がる縄文時代から鎌倉時代にかけての集落跡である。土地区画整理工事などに伴う発掘調査で、弥生時代の竪穴住居跡や墓跡などが見つかった。



出土品には、水銀朱を製作した石杵などがある。

### 17. 播磨田城遺跡



播磨田町集落の南西側に広がる中世の集落遺跡である。宅地造成工事に伴う発掘調査で、室町時代の屋敷跡などが見つかった。また、顔に刺青を施し、ベンガラを塗った縄文時代晩期の土偶が出土して話題にもなった。

### 18. カクレミノ(皇小津神社)

古くから神聖な木とされ、神社の森にたくさんみられるが、この境内の木が市内では最も大きいものであった。昔、身を隠すために使った「みの」に葉の形が似ている



ためにカクレミノと名が付けられたという。

### 19. 杉本家屋敷



荒見町の東端にある庄屋建物である。母屋は江戸時代後期の建築と推定され、庭園もそなえている。

### 20. 水止め石



荒見町の中程の道路端に對で保存されている。野洲川か法竜川(放流川)の氾濫時にこの石に戸板をはめて、水の侵入を防いだものと思われる。



## 21. 蜷江神社境内



境内は広く、約4200坪の面積がある。明治初期の神仏分離令によって、各地で神社と寺院が分離されたが、本神社は境内に地蔵院などを配し、神仏習合時の社殿配置を今に伝えている。また、夏には神前で僧侶による大般若経の転読が行われる。

## 22. 蜷江神社鰐口



蜷江神社境内の地蔵院に掛けられていた直径30cmを越える大型の鰐口である。「吉祥寺江州播磨田」「永仁七年亥巳二月廿日」の銘文から、永仁7年(1299)に吉祥寺に伝わったものであることが窺われる。

## 23. 蜷江神社大般若経題分一巻



書体、紙質から鎌倉時代の作と考えられている。蜷江神社に所蔵されるまでの経緯は不明だが、現在も盛夏に大般若経の転読が行われ、古い伝統を受けついでいることから、かなり古い時期に伝わり、大切に継承されてきたと考えられる。

## 24. 蜷江神社菖蒲池



元は野洲川の伏流水が池となっていたが、まちづくり事業によって笠原町の住民の手によって、菖蒲が植えられた。

毎年、6月下旬から7月上旬にかけて、紫や白の花菖蒲が数多く開き、訪れる人の目を楽しませてくれる。

## 25. 出湯の樋



笠原町地先の野洲川堤防下の竹藪の中にある樋門である。花崗岩の切石を積み上げ、野洲川から用水を引いた。現在も樋門と水路の一部が残っている。

## 26. 堤防の桜



野洲川左岸の堤防に植えられた、五百本のソメイヨシノで、笠原桜林公園として市民に親しまれている。

毎年、4月上旬の桜の開花の頃は、大勢の花見客で賑わう。

## 27. 狐山古墳



笠原町地先の水田の中にある古墳である。須恵器の出土が知られており、古墳時代後期頃の年代が考えられる。土取りにより、形状が変形しているが、円墳とされる。

## 28. 佐々木街道



近江源氏佐々木六角氏の本拠(蒲生郡)と赤野井を結ぶ道であり、佐々木六角氏の湖南地方を支配する重要路であった。野洲町小南の朝鮮人街道より起こり、中主町乙窪より野洲川を渡り、笠原、荒見、布施野を経て、赤野井港に達している。荒見町に道標が残る。

## 29. 川辺のミクリ

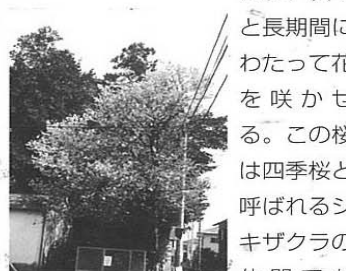


川辺の河川にミクリが見られる。浅い川底に生える多年性草本で、水底から直立して、水上に50~100cm程度出る。葉は線形で、茎より高くなる。花は6~8月に開き、若い果実はクリのイガのように見える。レッドデータブックの危急種である。

## 30. 二度咲き桜

中町若宮神社にある2本の桜の木は、春(4月)と秋(10月)の2回花を咲かせる。春には他の桜と同じく、一度にたくさんの花をつけるが、秋は一度に咲きそ

わず、次々と長期間にわたって花を咲かせる。この桜は四季桜と呼ばれるシキザクラの仲間である。



## 31. 餅つき神事



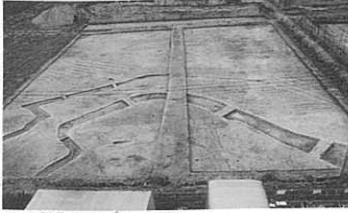
毎年、5月4日に中町若宮神社で行われる中町の伝統行事である。老若男女が相集い、豊作と人づくりを願って、「もちつき唄」を唄い、もちつきを行う。

## 32. お粥神事



毎年、1月15日午前0時に豊作と家内安全を祈願して、子供たちが「かゆ」を若宮神社にお供えする。その早朝には、中町全戸の大人・子供が一堂に会し、「かゆ」を食べ、新年を祝うという、中町の伝統行事である。

### 33. 川田合村跡



延宝5年（1677）の村絵図に記載されているが、大洪水で消滅したと伝えられる。昭和2年に行われた耕地整理によって、合村跡と推定される場所から、たくさんの石仏や墓碑が発見された。昭和61年の川田遺跡の発掘調査では、合村の一部とみられる江戸時代頃の堀跡などが発見され話題になった。

### 34. 十王堂



耕地整理によって、合村付近から発見された石仏や墓碑は十王堂に集められている。静かな境内に安置された石仏や墓碑がまぼろしの村「合村」の悲劇を今に伝えている。

### 35. 川田の一本松



野洲川堤防に川田の人々から神木と敬われる「一本松」があった。高さ約20mで、樹齢約三百年の大木であったが、野洲川改修時にやむなく切られた。現在は、伊勢神宮からの代わりの神木が天神社境内に植えられており、記念碑が建てられている。そして、一本松の一部は自治会館などに保存されている。

### 36. ヒイラギ(天神社)

御大典記念碑のある築山の上に、樹齢百年くらいになるヒイラギの古木がある。高さ7m、幹回り85cmの大きさと、晩秋にはモクセイに似た香りのある白い花をつ



ける。節分にはこの木の枝にイワシの頭を添えて門口にかざし、魔除けとした。

## 河西学区の指定文化財

### 県指定文化財

地図に●で表示

番号	名称	種類	年代	指定年月日	所有(管理)者	所在地	備考
22	鱈口	工芸	室町	昭56. 4.24	蜷江神社	笠原町	要連絡
39	大日堂の妙蓮及びその池	天然記念物		昭40. 3.26	近江妙蓮保存会	川田町田中	

### 市指定文化財

地図に●で表示

番号	名称	種類	年代	指定年月日	所有(管理)者	所在地	備考
12	西蓮寺板碑	建造物	鎌倉	平12. 5.12	西蓮寺	播磨田町	要連絡
21	蜷江神社境内	史跡	近世	昭52. 4.30	蜷江神社	笠原町	
23	紙本墨書大般若経理趣分	書跡	鎌倉	昭52. 4.30	蜷江神社	笠原町	要連絡

## 河西学区 自治会別人口推移（平成5年から平成25年まで）

	平成5年			平成10年			平成15年			平成20年			平成25年		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
小島	776	23	103.0%	799	23	103.0%	884	85	110.6%	1,113	229	125.9%	1,246	133	111.9%
阿比留	418	5	101.2%	423	5	101.2%	543	120	128.4%	874	331	161.0%	932	58	106.6%
播磨田	3,511	815	123.2%	4,326	815	123.2%	4,432	106	102.5%	5,003	571	112.9%	5,092	89	101.8%
布施野	247	-11	95.5%	236	-11	95.5%	219	-17	92.8%	206	-13	94.1%	179	-27	86.9%
今市	356	17	104.8%	373	17	104.8%	363	-10	97.3%	344	-19	94.8%	305	-39	88.7%
荒見	252	-5	98.0%	247	-5	98.0%	248	1	100.4%	236	-12	95.2%	230	-6	97.5%
笠原	724	41	105.7%	765	41	105.7%	754	-11	98.6%	722	-32	95.8%	807	85	111.8%
中	456	-34	92.5%	422	-34	92.5%	407	-15	96.4%	405	-2	99.5%	363	-42	89.6%
川田	483	-3	99.4%	480	-3	99.4%	530	50	110.4%	550	20	103.8%	729	179	132.5%
喜多	233	16	106.9%	249	16	106.9%	228	-21	91.6%	240	12	105.3%	232	-8	96.7%
田中	407	-16	96.1%	391	-16	96.1%	374	-17	95.7%	369	-5	98.7%	354	-15	95.9%
川辺	159	-2	98.7%	157	-2	98.7%	137	-20	87.3%	133	-4	97.1%	108	-25	81.2%
川中	541	1	100.2%	542	1	100.2%	512	-30	94.5%	489	-23	95.5%	466	-23	95.3%
河西 ニュータウン	1,789	-57	96.8%	1,732	-57	96.8%	1,657	-75	95.7%	1,591	-66	96.0%	1,705	114	107.2%
河西ハイム	557	-50	91.0%	507	-50	91.0%	494	-13	97.4%	537	43	108.7%	539	2	100.4%
ファイアー 守山	-	-	-	-	-	-	305	-	-	287	-18	94.1%	275	-12	95.8%
合計	10,909	740	106.8%	11,649	740	106.8%	12,087	438	103.8%	13,099	1012	108.4%	13,562	463	103.5%

## 学区別人口推移（平成5年～平成32年）

	平成5年		平成10年		平成15年		平成20年		平成25年				
	人口数	増減数	人口数	増減率	人口数	増減数	増減率	人口数	増減数	増減率			
守山	14,299	1,904	16,203	113.3%	18,926	2,723	116.8%	22,566	3,640	119.2%	24,063	1,497	107.3%
吉身	12,976	1,247	14,223	109.6%	14,956	733	105.1%	15,618	662	104.4%	16,280	662	105.0%
小津	6,081	-285	5,796	95.3%	5,624	-172	97.0%	5,699	75	101.3%	5,886	187	103.7%
玉津	4,532	-25	4,507	99.4%	4,443	-64	98.5%	4,220	-223	94.9%	4,025	-195	95.8%
河西	10,853	796	11,649	107.3%	12,087	434	103.7%	13,099	1,012	108.3%	13,444	345	103.5%
速野	8,396	1,169	9,565	113.9%	10,585	1,020	110.6%	11,928	1,343	112.6%	12,469	541	105.6%
中洲	3,116	-133	2,983	95.7%	2,891	-92	96.9%	2,799	-92	96.8%	2,675	-124	95.4%
合計	60,253	4,673	64,926	107.7%	69,512	4,586	107.0%	75,929	6,417	109.2%	78,842	2,913	104.6%

	平成27年		平成32年	
	人口数	増減数	人口数	増減率
守山	25,025	962	27,404	109.5%
吉身	15,536	-744	15,452	99.4%
小津	5,708	-178	5,609	98.2%
玉津	3,907	-118	3,649	93.3%
河西	13,745	301	14,111	102.6%
速野	13,816	1,347	15,042	108.8%
中洲	2,624	-51	2,476	94.3%
合計	80,361	1,519	83,743	104.2%

※ 平成27年、32年の人口統計値については市が作成した「第5次守山市総合計画」で表示された数値を参照しています。

学区別人口推移の数値をグラフ化したものになります。

